

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2007-167078(P2007-167078A)
 【公開日】平成19年7月5日(2007.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報2007-025
 【出願番号】特願2007-84406(P2007-84406)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 B

A 0 1 K 67/027

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 望みの増殖している分化ヒト細胞または細胞核を、前記分化細胞または細胞核とヒト卵母細胞へ、核移植(NT)ユニットの形成に適した条件下で挿入する工程；

(ii) 得られた核移植ユニットを活性化する工程；

(iii) 前記活性化核移植ユニットを2細胞発生期を越えるまで培養する工程；および、

(iv) 前記培養NTユニットから得られる細胞を培養してCICM細胞株を得る工程、を含む、CICM細胞株を作製する方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法によって得られるCICM細胞株。

【請求項3】

望みのDNAが増殖している分化ヒト細胞または細胞核において挿入、除去または改変され、それにより遺伝的に改変されたNTユニットが作られる、請求項1記載の方法。

【請求項4】

請求項3記載の方法によって得られるトランスジェニックCICM細胞株。

【請求項5】

得られたCICM細胞株が分化誘導される、請求項1記載の方法。

【請求項6】

請求項5記載の方法によって得られるヒト分化細胞。

【請求項7】

細胞移植療法を必要とする患者に請求項6記載のアイソジェニックまたはシンジェニック分化細胞を投与することを含む、治療方法。

【請求項8】

細胞移植療法が、パーキンソン病、ハンチントン病、アルツハイマー病、ALS、脊髄欠損または損傷、多発性硬化症、筋ジストロフィー、嚢胞性繊維症、肝臓疾患、糖尿病、心臓疾患、軟骨欠損または損傷、火傷、足部潰瘍、血管疾患、尿路疾患、AIDSおよび癌から

なる群より選ばれる疾患または健康状態を治療するために行われる、請求項 7 記載の治療方法。

【請求項 9】

分化ヒト細胞が造血細胞または神経細胞である、請求項 8 記載の治療方法。

【請求項 10】

パーキンソン病の治療のためのものであり、分化細胞が神経細胞である、請求項 8 記載の治療方法。

【請求項 11】

癌の治療のためのものであり、分化細胞が造血細胞である、請求項 8 記載の治療方法。